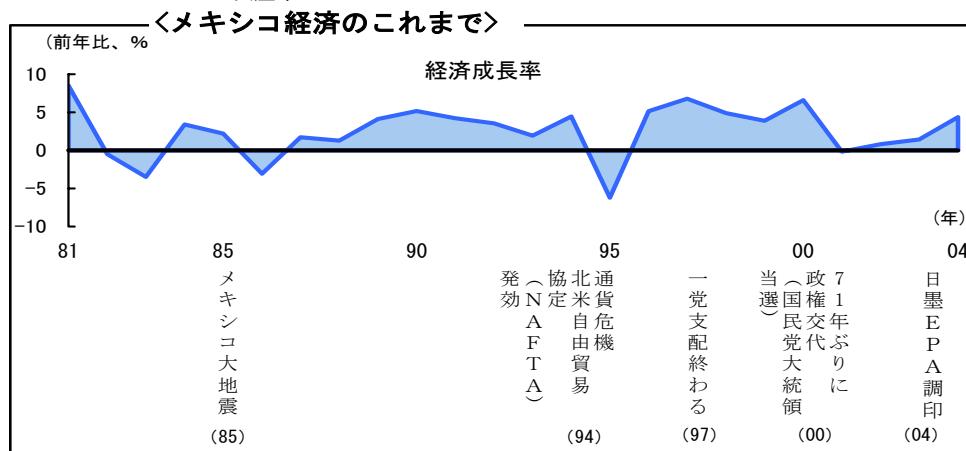


<2004年>

人口	1億570万人 (日本の約5/6)	財政会計年度	1月～12月
一人当たりGDP	6,400ドル	為替制度	変動相場制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 4.0% 2次産業 26.0% 3次産業 70.0%	通貨	ペソ 1米ドル=11.286ペソ
			面積 196.4万km ² (日本の約5倍)



メキシコの主要経済指標

		93～03年	2004年	2005年			2006年			民間機関
				政府	O E C D	I M F	政府	O E C D	I M F	
実質GDP	前年比%	2.7	4.4	3.8	3.0	3.0	3.8	3.9	3.5	実質GDP
鉱工業生産	同上	2.8	3.8	—	—	—	—	—	—	2005年
消費者物価	同上	15.0	4.7	3.9	4.0	4.3	3.0	3.5	3.6	平均 3.0
失業率	%	3.5	3.7	—	—	—	—	—	—	最大 3.3
経常収支	億米ドル	▲74	▲88.9	—	—	—	▲142.4	—	—	最小 3.0
(GDP比)	%	(▲1.1)	(▲1.4)	(▲0.9)	(▲1.1)	(▲2.1)	(▲1.1)	(▲0.8)	—	2006年
財政収支	億米ドル	▲39.3	—	—	—	—	—	—	—	平均 3.5
(GDP比、年度)	%	(▲0.3)	(▲0.3)	—	(▲0.7)	(▲0.1)	—	(▲0.7)	—	最大 3.6
政府債務残高	億米ドル	1,546	(24.7)	—	—	—	—	—	—	最小 3.0
(GDP比、年度末)	%			—	—	—	—	—	—	(25社)

(備考) 1. メキシコ銀行、メキシコ地理情報統計院、IMF "International Financial Statistics"による。

見通しの政府はメキシコ財務省"Economic Policy Guidelines for 2005" (2004年9月) 等、

O E C Dは"Economic Outlook" (2005年11月) 、I M Fは"World Economic Outlook" (2005年9月) による。

2. 財政収支は、一般政府。2002年は、農業開発銀行(Banrural)解散の影響を除いたもの。

3. 政府見通しの消費者物価は、12月の前年同月比。

＜2005～2006年の経済＞

2005年は3%程度の成長が見込まれる。民間機関26社の見通しは、05年春時点の3.8%から、2.9%へと下方修正されている。アメリカとの金利格差からペソ高が進む中、輸出全体の約9割を占める米国向け輸出が鈍化したことから、生産は05年前半に前年同期比1.4%と、低い伸びとなった。一方、個人消費については伸びが鈍化しているものの、失業率が6月以降低下基調で推移するなど雇用環境には持ち直しの動きが見られており、景気の鈍化を受けて8月から緩和に転じた金融政策とともに消費を下支えしている。

2006年も引き続き景気は回復を続け、3%台半ばの成長が見込まれているほか(I M F見通し3.5% (05年9月)、民間機関25社の平均3.5% (05年10月))、06年7月に実施が予定されている、大統領選挙の動向に注目が集まっている。